

5 岩手県信漁連の取組み内容

(1) 組織概要・概況

- 設立 昭和28年12月
- 役員 理事8名, 監事4名, 職員113名 ※平成24年3月末
- 事業概況

| | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年9月 |
|-------|--------|---------|---------|
| 貯金末残 | 895億円 | 1,198億円 | 1,335億円 |
| 貸出金末残 | 236億円 | 301億円 | 306億円 |
| 事業利益 | 148百万円 | 298百万円 | 210百万円 |
| 経常利益 | 378百万円 | 81百万円 | 77百万円 |
| 当期利益 | 194百万円 | 162百万円 | 51百万円 |

5 (2) 復興の歩みと震災対応

➤ 店舗等の被害状況

- ・沿岸地区の19支店・20営業店のうち、13支店・15営業店が損壊。
- ・窓口端末機57台中40台、ATM27台中20台が流出。

➤ 信用事業機能の復旧状況

- ・震災後の翌週から他金融機関に先駆け、沿岸4地区の避難所などに本店職員が出向き、臨時店舗を設置。
- ・平成24年10月現在で19支店・10営業店で営業し、端末機42台、ATM17台が稼動。

➤ 会員漁協への復興支援

- ・漁協が国の漁協経営再建緊急支援事業を活用するための復興再生計画策定を支援。
- ・計画の認定を受けた22漁協、2地区漁連の設備資金は漁船6,000隻、養殖施設9,700台、定置・市場・製氷加工施設等で総事業費653億円、うち補助残88億円、運転資金22億円、負債整理資金13億円の計123億円を対応。
- ・24年度においても、23年度3次補正予算に基づく、追加設備投資にかかる復興再生計画の見直し支援を実施。これに伴う融資についても対応中。

➤ 組合員等利用者向け復興支援

- ・実質無利子、無担保無保証人の設備資金・借換資金として、「漁業近代化資金」、「県単災害復興資金」、「漁業経営維持安定化資金」などの資金メニューを揃え、23年度より継続対応中。